

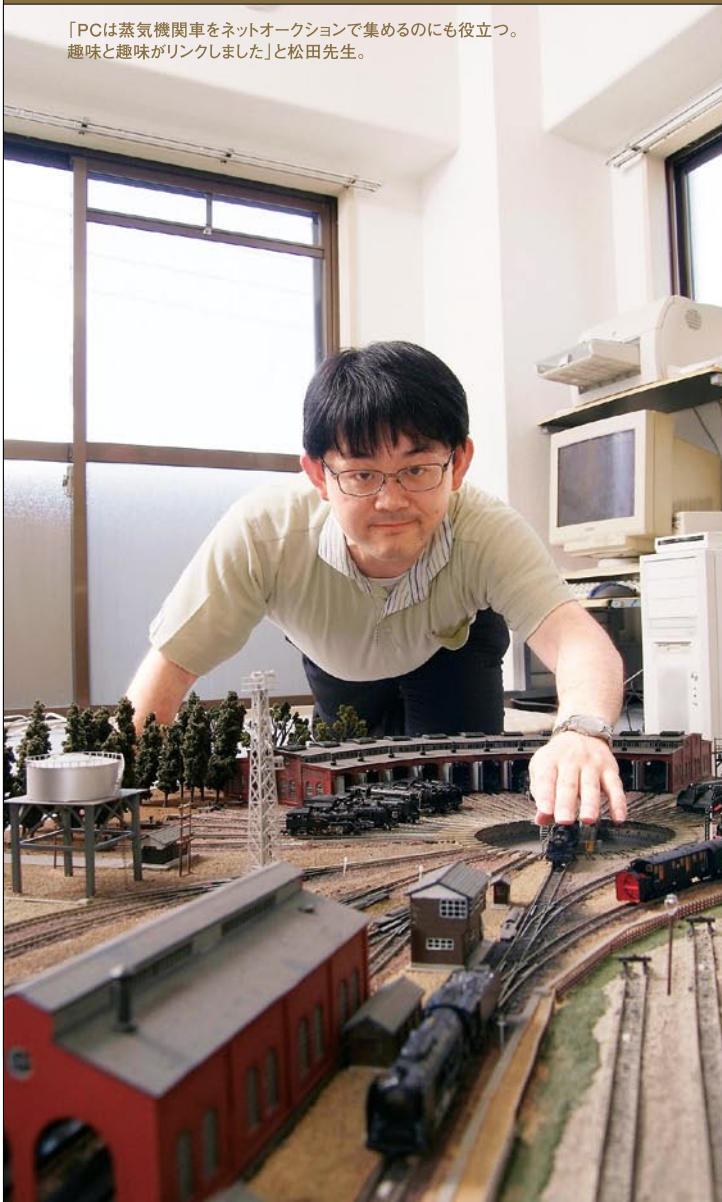
教授 focus

松大な人③

法学部 松田龍彦准教授 *Tatsuhiko Matsuda*

1969年生まれ。岡山県倉敷市出身。中央大学法学部法律学科卒業後、中央大学大学院法学研究科へ。博士後期課程単位取得後、非常勤講師として各大学で教鞭をとる。2005年4月に松山大学に赴任。

「PCは蒸気機関車をネットオークションで集めるのにも役立つ。趣味と趣味がリンクしました」と松田先生。



私の父は愛媛大学出身、親戚には松山大学出身者もあり、松山という土地には非常に縁を感じてやって来ました。私の故郷（倉敷市）も、この町と同様に瀬戸内海に面していますしね。都会過ぎず、田舎過ぎない、暮らし心地の良い町なので、すんなり馴染むことができました。実は松山に来た最初の1年、健康のためにとにかく歩いたんです。郊外電車の終点駅まで歩いて、帰りは電車に乗るなんてことを毎日やってました。1日平均10km以上は歩いたでしょうか。それも松山と馴染めた理由の一つでしょうね。

この街歩きもそうですが、私は何でも興味

を持ったことには挑戦して、始めたからにはあるレベル以上までは極めていきたいという性格なんです。今風に言えばオタク気質かもしれない（笑）。そうやって夢中になったことは、本当にたくさんあります。時はPCのカスタムメイドを、それこそ職人のようにやっていました。きっかけは大学院生の時、使っていた某メーカー品のPCが壊れて、その修理に随分と時間を要したこと。そこで自分で使うものの中身を知らないままではだめだ、と友人から譲って貰った中古のPCを使って、約半年で自身のパーツを全て入れ替えました。その後は自分用だけでなく友人の依頼を受けて、予算と要望に合わせて

PCを作りました。全部で100台は手がけたでしょうか。「気に入ったら晩飯でも奢ってくれ」という契約で（笑）。自分は楽しめるし、友人にも喜ばれるんで、非常にいい趣味といえるでしょう。ここ数年は鉄道模型（Nゲージ）の蒐集にも熱が入っています。幼い時に祖父に手をひかれて伯備線の蒸気機関車を見たことが非常に印象に残っているせいか、集めているのは国鉄時代の蒸気機関車を中心。手元には全部で2000両ほどありますが、こちらはまだまだマニアの域には達していません。ただ、時間のある時に車両を連結させて走らせるのが楽しい。まあ、三つ子の魂百までということなのでしょう。

何でも興味を持ったことには挑戦して、挑戦した以上は極めてたい。目指すは最強のアマチュアなんです。